

平成 17 年 8 月 26 日

各 位

不動産投信発行者名
東京都千代田区紀尾井町4番3号
泉館紀尾井町ビルディング
日本リテールファンド投資法人
代表者名 執行役員 廣本 裕一
(コード番号8953)

問 合 せ 先
三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社
常務執行役員 南 俊一
TEL. 03-3511-1692

投資証券発行に係る発行登録に関するお知らせ

本投資法人は、本日開催した役員会において、投資証券発行に係る発行登録を行うことを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

- | | |
|---------------|---|
| 1.募集内国投資証券の形態 | 投資証券 |
| 2.発行予定期間 | 発行登録の効力発生予定日から2年を経過する日まで
(平成17年9月3日から平成19年9月2日) |
| 3.発行予定額 | 1,000億円 |
| 4.手取金の使途 | 主として本投資法人による新たな特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項における意味を有します。)の取得資金及び借入金の返済資金に充当します。 |

本投資法人は、商業施設特化型の不動産投資法人として平成14年3月12日に株式会社東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場して以来、着実に物件を取得し、平成16年8月末には当初設定した上場後3年以内に総資産額2,000億円という目標を前倒しで達成し、平成17年6月末現在総資産額2,929億円と、中長期的な目標である総資産額4,000億円規模のポートフォリオの構築を目指して成長を続けています。

今般の投資証券発行に係る発行登録の実施により、今後2年の間に竣工を迎える大型開発物件を含めた本投資法人の新規物件取得に係る旺盛な資金需要に対し、機動的なエクイティ資金の調達が可能となり、無担保銀行借入れ枠(注1)や国内無担保投資法人債の発行(注2)によるデット資金の調達と併せ、より多様かつ機動的に本投資法人の外部成長を支えていくことが可能となります。

(注1)平成16年9月27日に株式会社東京三菱銀行をアレンジャーとするシンジケート団から総額800億円の無担保借入枠が付与されました。

(注2)平成17年1月11日に総額1,000億円の国内無担保投資法人債の発行にかかる包括決議を行いました。

今後とも、財務体質の改善や減損会計の導入を睨んだ国内大手企業の旺盛な資産売却ニーズの受け皿として、また、大手小売業の大型新規店舗開発プロジェクトに対する出口候補としての参画等を通じ、引き続き投資主の皆様の期待に沿った外部成長を続ける所存です。

ご注意：本報道発表文は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。また、本報道発表文は、米国における証券の募集を構成するものではありません。1933年米国証券法に基づいて証券の登録を行うかまたは登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集または販売を行うことは出来ません。